

# わくわく本だな 11月号

富山市立図書館

## 今月のおすすめ



= 1・2年  
= 3・4年  
= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -



「**どんぐりしいちゃん**」 (えほん) かとう まふみ / 作 教育画劇

どんぐりのしいちゃんがコロコロおどっていると、木の上からなにかおちてきました。それは、すてきなどんぐりのぼうしでした。でも、わがままなしいちゃんは、「もっといいぼうしがほしい」と、おもいました。

「**こうえんどおりのようふくやさん**」 堀 直子 / 作 小峰書店  
コオさんのようふくやさんに、小さな女の子がやってきました。お兄ちゃんのコートを作ってほしいと、たのみにきたのです。「足はみじかくて、  
どうはながい、くびはほそめ...。」なんだかへんな形のコートです。



「**ももいろ荘の福子さん**」 村上 しいこ / 作 ポプラ社

福子は小学4年生ですが、アパート「ももいろ荘」の大家さんです。  
住んでいるのは、女子プロレスラーの浜子さん、ラーメン屋のおっちゃん、  
同級生のぼん太くんなど。みんなでフリーマーケットを開くことにしました。

「**およげなかったカバ モモ**」 伊藤 雅男 / 作 新日本出版社

カバの赤ちゃんは、ふつう水中で生まれます。ところがモモは地面の上で生まれたため、うまく育ちませんでした。そこで、動物園の飼育係が育てたのですが、困ったことに、モモはおよげないカバになってしまったのです。



# あたらしくはいった本

## えほん

「お月さまにげた」 谷川 晃一 / 作 毎日新聞社

あらしの夜、<sup>うみべ</sup>海辺の酒場<sup>さかば</sup>にやってきたお月さま。ワインを次々におかわりし、よっぱらってねむってしまいました。朝になって、目をさまし、空へかえろうとすると、<sup>へや</sup>部屋のドアがあきません。酒場の主人にとじこめられてしまったのです。



「ねずみのおなか」 長崎 源之助 / 作 につけん教育出版社

サーカスのぞうさんのテントに、おなかをすかせたねずみのかぞくが、やってきました。となりに大きなおかしやができたせいで、ねずみの住んでいる、おせんべいやさんがびんぼうになり、こまっているというのです。



## ものがたり

「ずんたたくん」 戸田 和代 / 作 佼成出版社

今夜もねむれなくて、くまくまくんが外に出てみると、ずんたたくんというふしぎな男の子にであいました。ふたりは、<sup>よぞら</sup>夜空を走る汽車<sup>きしゃ</sup>にのり、お月さまの家に行きました。ホットケーキをごちそうになり、<sup>ゆめ</sup>夢のような時間<sup>じかん</sup>をすごします。



「金魚は あわのおふるに入らない!？」 トリーナ・ウィーブ / 作 ポプラ社

アビーと妹のテスは、<sup>きんぎょ</sup>近所のウィルソンさんが留守の間、<sup>せわ</sup>金魚の世話をするとになりました。ところがテスは、<sup>せんざい</sup>金魚を洗剤の入った泡のお風呂にいれてしまったのです。「金魚を喜ばせたいからって、なんてばかなことをするの!」と、アビーはもうかんかん。



「トレイン探偵北斗 寝台特急北斗星の美少女」

高森 千穂 / 作 ポプラ社

<sup>しづきほくと</sup>紫月北斗は、運動も勉強もにがてけど、<sup>てつどう</sup>鉄道のことならだれにも負けない小学4年生の男の子。ある日、「あたしを守ってください」というファックスが届きました。北斗は<sup>こがた</sup>小型ロボット犬とともに、<sup>しんたい</sup>指定された寝台車<sup>しんだいしゃ</sup>に向かいます。



## 「レベル4 ~子どもたちの街~」

アンドレアス・シュリユーター / 作 岩崎書店

13歳のベンがコンピュータゲーム「レベル4」で遊んでいると、突然、ゲームが動かなくなりました。そして、この世から大人が全部消えたのです。しかたなく、ベンたち四人は暮し始めました。ところがある日、街全体の水道がとまり、生活ができなくなったのです。



## 「空ねこのひげ 夕日のしずく」

かきゆれ りの / 作 新風舎

くねくね坂へさんぽにでかけた、たっくんと犬のジンは、悪いまほう使いのクロウを、この世によびもどしてしまいました。そして、半分人間で半分犬というきみょうなすがたに変えられてしまいます。

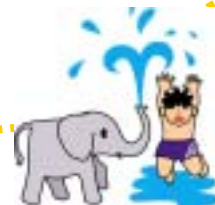


### ちしきの本

## 「星になった少年 ~ぼくの夢はぞうの楽園~」

島田 和子 / 作 汐文社

すべてのぞうを幸福にすることを夢みた、坂本鉄夢さん。彼は小学校を出てすぐに、タイのぞう訓練センターに留学しました。異国の地でたくましく成長し、日本で初めての最年少のぞう使いになります。実話に基づいた物語です。



## 「ののちゃんのDO科学」 朝日新聞社



「どうして人は夢を見るの?」「雷はどのようにして起きるの?」など、ふだんの生活でふと疑問に思うことを、ののちゃんと先生がわかりやすく説明し、解決してくれます。

## 「好き から見つける なりたい職業ガイドブック」 PHP研究所

あなたは大人になったらどんな仕事をしたいですか? サッカー選手? お医者さん? よくわからない人も、きっとあなたにあう仕事が見つかります。

好き をキーワードにして、いろいろな仕事が紹介されていて、必要な資格も書いてあります。

# 11がつのこよみ



秋もふかまってきて、木々も色づきはじめました。  
あしもとを見ると、いろんな形の落ち葉や木の実が落ちていきますね。

## 木の実に遊ぼう

「ドングリと木のみのこうさく」 竹井 史郎 / 作 小峰書店  
「木の実ともだち みつける・たべる・つくる」

松岡 達英 / 作 偕成社

「みじかないのち 生活科のほん 木のは 木のみ」 鈴木出版

「木の実ノート みつけてうれしい あそんでゆかいな」 いわさ ゆうこ / 作 文化出

## 《 きょうは何の日？ 》

今月は、皆さんになじみの深い人物や、  
物語の作者が、たくさん生まれました。



日本で最初の怪獣映画の<sup>かいじゅう</sup>ゴジラも、  
11月3日がたんじょう日ですよ。

11月9日 新千円札でおなじみの野口英世

11月12日 「モモ」「はてしない物語」の作者エンデ

11月14日 「長くつ下のピッピ」を書いたリンドグレーン

11月29日 今度映画になる「ナルニア国ものがたり」シリーズのルイス

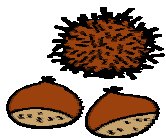
## 図書館しょうかい!

ふちゅうとしょかん まき  
- 婦中図書館の巻 -

婦中図書館は、婦中ふれあい館の1階にあります。

図書室の児童コーナーは、楽しいものがたりや、  
学習に役立つ本がたくさんあります。

絵本のへやの たたみコーナーでは  
おとうさん、おかあさんといっしょに、ゆっくり絵本や紙芝居が読めます。



みなさんが良い本と出会ってくれることを、  
スタッフ一同願っています。ぜひ利用してくださいね。